資料番号	地域６

令和７年７月 18 日
課　名　地域政策局スポーツ推進課
担当者　課長　田口
内　線　2640

アーバンフューチャーズ広島の開催効果等について

１　要旨・目的

アーバンスポーツ大会「アーバンフューチャーズ広島」の開催効果等を報告する。

２　現状・背景

アーバンスポーツは、若者を中心に高い集客力があり、スポーツの枠を超え、観光、地域経済の活性化にもつながるなど成長が期待できることから、広島の新しいブランド価値を生み出す重要な取組として、県はこれまで大会の誘致に取り組んできており、その結果、令和７年４月 18 日～20 日にアーバンスポーツ大会「アーバンフューチャーズ広島」が初開催された。

今回、主催団体である（一社）日本アーバンスポーツ支援協議会が、来場者へのアンケート調査等を基に大会の開催効果等を検証したため、報告する。

３　概要

(1)　参加選手数

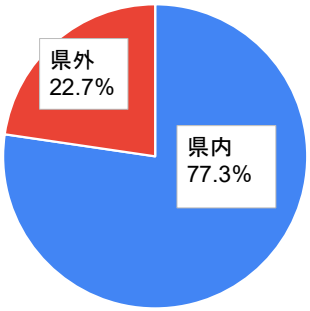
616 名

(2)　総来場者数

51,040 人（延べ人数）

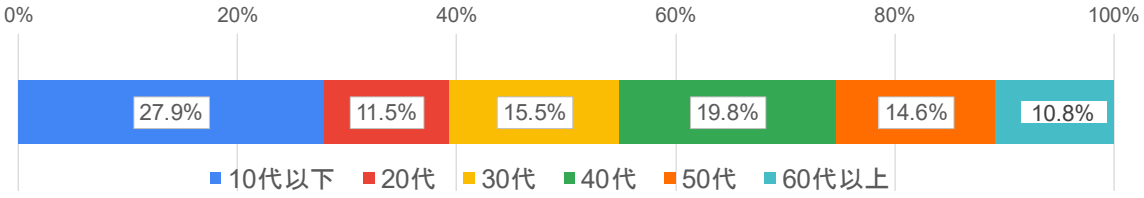
- 来場者の 77.3%は県内在住であり、県外では、人口の多い都府県（福岡、兵庫、大阪等）及び近隣県（岡山、山口）からの来場が多い。【図１】
- 来場者の年齢は、10 代以下及び 20 代が約４割を占めており、幅広い世代が来場している。【図２】
- 来場者の 73.2%が、子供や配偶者などの家族連れで来場している。

【図１】居住地の割合



- 県内 77.3%
- 県外 22.7%
  福岡 2.9%、兵庫 2.2%、岡山 2.0%、大阪 1.9%、東京 1.8%、愛知 1.4%、山口 1.1%等

【図２】年齢別の割合



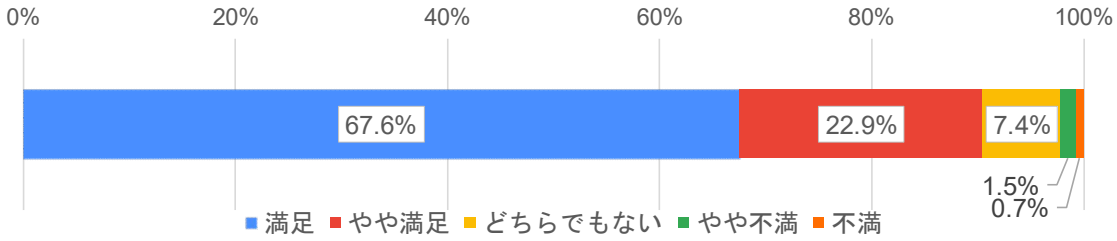
(3)　大会満足度

90.5%

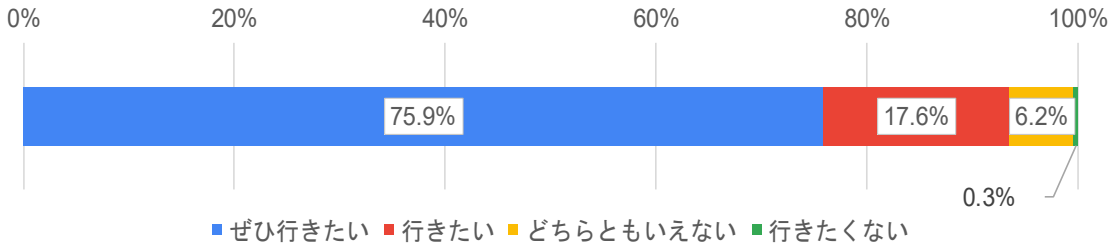
・　大会全体について「満足」「やや満足」と回答した人が 90.5%を占めた。【図３】
・　来場者の９割強は、再来場の意向を示している。【図４】

（アンケート回答例）
・１つの場所でたくさんの競技に触れることができてよかった。
・間近でハイレベルなパフォーマンスが見られて、とてもよかった。
・場所は交通の便がよくてきれいでとてもいい。
・気軽に観戦できる。街がにぎやかになる。

【図３】大会満足度（全体）



【図４】再来場意向



(4)　経済波及効果

約３億３千万円

・　消費額単価を基に算出した経済波及効果は、県内来場者による効果が約９千万円、県外来場者分による効果が約２億４千万円となり、全体で約３億３千万円となった。

（参考）消費額単価（単位：円/人）

県外来場者		県内来場者	
宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
約 93,300	約 26,600	約 53,800	約 6,100

4　今後の対応

開催効果等を踏まえ、次回大会の開催について、主催団体と引き続き調整を行う。

【参考】アーバンフューチャーズ広島の概要

1　実施団体

（1）　主催

一般社団法人日本アーバンスポーツ支援協議会、一般社団法人アーバンスポーツ大会組織委員会

（2）　共催

公益財団法人日本体操協会、一般社団法人全日本フリースタイル BMX 連盟、一般社団法人日本スケートボード協会

2　実施期間

令和７年４月 18 日（金）～20 日（日）

3　場所

ひろしまゲートパーク（広島市中区基町５-25）

4　種目

- BMX フリースタイルパーク・フラットランド（マイナビ JapanCup HIROSHIMA2025）
- スケートボード（FLAKE CUP）
- パルクール（第６回日本選手権予選＆ネクストジェン予選）

5　協力

広島県、広島市

6　入場料

無料

7　公式ホームページ

https://urbanfutures-hiroshima.jp

【アーバンフューチャーズ広島当日の様子】